

令和3年7月8日

お知らせ

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
内容が変更になる場合があります。

京都市文化市民局
〔担当 元離宮二条城事務所〕
〔TEL 841-0096〕

「二条城障壁画 展示收藏館」原画公開 令和3年度第2期

歴史の舞台〈大広間〉の対面所

前期：将軍が見た二の間 後期：将軍を取り囲む一の間

元離宮二条城では、「二条城障壁画 展示收藏館」において、年4期にわたり二の丸御殿障壁画（重要文化財）の原画を公開しております。この度、第2期原画公開「歴史の舞台〈大広間〉の対面所」の開催について詳細が決まりましたので、お知らせします。今回は、二の丸御殿の中心に位置し、重要な歴史の舞台となった〈大広間〉の二の間と一の間障壁画を、前期と後期に分けて展示します。

是非、この機会に二条城へお越してください。

1 会期

前期：令和3年7月15日（木）～8月23日（月）〔40日間〕

後期：令和3年9月3日（金）～9月26日（日）〔24日間〕

2 入館時間

午前9時～午後4時30分（閉館は午後4時45分）

※ 二条城の入城受付は、午後4時まで。

3 会場

元離宮二条城内 二条城障壁画 展示收藏館

（京都市中京区二条通堀川西入二条城町541番地）

※ 二条城にお越しの際は、公共交通機関を御利用ください。

4 入館料

100円（未就学児無料）

※ 別途入城料が必要。

※ 市内に在住・在学の小中学生、市内在住の70歳以上の方（敬老乗車証等で住所、年齢を確認できる方）、各種障害者手帳等をお持ちの方については、入館料を徴収しません。

5 公開作品

（1）前期：〈大広間〉二の間障壁画《松孔雀図（まつくじゃくず）》（障壁画面数：27面）

後期：〈大広間〉一の間障壁画《松竹錦鶏図（しょうちくきんけいず）》《花卉図（かきず）》

《水仙図（すいせんず）》（障壁画面数：33面）

（2）解説及び見所 裏面のとおり

6 お問い合わせ先

京都市文化市民局元離宮二条城事務所

〒604-8301 京都市中京区二条通堀川西入二条城町541番地

TEL：（075）841-0096 FAX：（075）802-6181

歴史の舞台〈大広間〉の対面所

前期：将軍が見た二の間 後期：将軍を取り囲む一の間

二の丸御殿の中心に位置する〈大広間〉には、徳川幕府の権力を誇示するかのよう^{きんじ}に、金地を背景に巨大な松が何本も描かれています。中でも、一の間（上段）と二の間（下段）からなる対面所^{たいめんじよ}は、御殿の最も公的な儀礼の場であり、徳川幕府の栄光と終焉^{しゅうえん}の舞台となりました。

今回は、当館初の試みとして、前後2期にわたって、〈大広間〉対面所の障壁画をすべて公開いたします。

対面所のすべての壁面には、それぞれ巨大な松が描かれていますが、対面所を使用するときには、襖^{ふすま}や戸襖^{とぶすま}を取り外したと思われ^{なげし}ますので、松の幹や枝が見えなくなる部分もあったはず^{きんけい}です。しかし、長押^{ながし}の上の壁面だけになっても、松や遠山が部屋を取り囲むようにデザインされています。また、将軍の座となる一の間には錦鶏^{きんけい}、将軍との謁見^{えっけん}に臨む人々が控えた二の間には孔雀^{くじゃく}が、それぞれ描かれています。これらはいずれも外国からの献上品^{けんじょうひん}として日本の権力者に贈られた珍鳥^{ちんちょう}であることから、このような鳥を描かれたのも、御殿の主たる将軍の権威を示すためであったと考えられます。

この対面所は、徳川幕府の栄枯盛衰^{えいこせいすい}を象徴する出来事の舞台となりました。二条城の歴史上、もっとも盛大な行事であった寛永3年（1626）の後水尾天皇（1596～1680）の行幸の際には、一^{とこ}の間の床廻りは豪華に飾られ、二の間には金の茶道具が置かれました。大広間の南側に設置された能舞台では、猿楽^{ざるがく}（能のこと）が上演され、その際には二の間が天皇や中宮の観覧席になりました。

一方、幕末に政治の中心が京都に移った後、最後の将軍となった一橋慶喜^{ひとつばしよしのぶ}（1837～1913）の将軍宣下^{せんげ}の儀式は、慶応2年（1866）12月、この対面所で挙^{けいおう}行されました。その約10箇月後、同じ場所^{たいせいほうかん}で、大政奉還^{たいせいほうかん}が発表されたのです。激動の歴史の舞台を飾った壮麗な障壁画を、ぜひ間近から御鑑賞^{そうれい}ください。



〈大広間〉一の間障壁画《松竹錦鶏図》部分



〈大広間〉二の間障壁画《松孔雀図》部分